

私たちの仕事は、特別な日を創ることです

CERESPO

NEWS

vol.
89

February
2017

セレスポ

セレスポ・ニュース
平成 29 年 2 月発行
第 89 号

セレスポ
Pick Up

セレスポは、
本堂杏実選手を応援します!

東京 2020 応援プログラム
大学提携協定締結イベント

「リオから東京、そして、
大阪へバトンタッチ!」

リオから東京、 そして、大阪へ バトンタッチ！

東京 2020 応援プログラム 大学提携協定締結イベントを開催



東京オリンピック・パラリンピック開催まであと3年。東京だけではなく全国各地で応援ムードが高まるなか、大阪経済大学もオリンピック・パラリンピック応援プログラムを始動しました。応援プログラムの大学連携協定締結大学*のひとつである同大学が中心となって、1月21日にシンポジウムを開催。関西地域の応援ムードを盛り上げました。

日本を代表するイベントに向けて 銅メダリストの朝原氏も登壇

1月21日、大阪経済大学の大隅キャンパスで東京オリンピック・パラリンピックを応援するイベントが開催。同イベントは「リオから東京、そして、大阪へバトンタッチ！」と題して、大阪市や東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会、観光局、他大学の見識者が集まり、各団体が行っている応援活

動や開催に向けての想いを語りました。

「開催される東京と比べると、まだまだ大阪での盛り上がりは弱いです。同じ日本の一員として、大阪でも東京オリンピック・パラリンピックを盛り上げて、日本全体の魅力を世界に発信していきたいです」（大阪市）

シンポジウムには、2008年の北京オリンピックで銅メダルを獲得した元陸上選手で現在はスポーツ解説者や大阪経済大学で客員教授を務める朝原宣治氏も登



壇。選手たちのメダル獲得への気持ちに違いが見えること、また戦いかたが変わってきていることを語りました。

「僕は『メダルを取るとはどういう気持ちなんだろう』と考えていましたが、リオに出場した選手は最初から『メダルを取るぞ！』という気持ちを持っていました」（朝原氏）

Interview



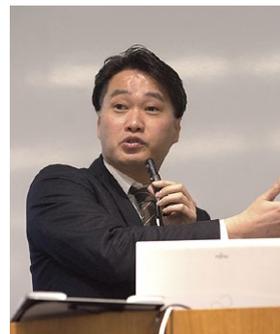
プロの力も借りて一緒に盛り上げていきたい

大学でオリンピック・パラリンピックの応援イベントを実施することになり、以前からお付き合いがあり、さまざまなイベントに高い実績を持つセレスポさんへ依頼しました。大学をあげての大イベントになるため、リスク管理ができ、丁寧に進めてくれる会社さんへお願いしたいと考えていたんです。

内製だけでは限界があります。どうしても妥協や甘えが発生してしまうので、プロの力を借りて、客観的な視点で一緒に盛り上げてくれる。特に今回は学内のさまざまな学部や部署とも連携して進めなければならない中で、大きなコミュニケーションロスにつながらな

かったのはプロの力があったからこそだと考えています。また、今回はイベントに不慣れなゼミ生にも運営に関わってもらったのですが、丁寧に指導いただけて良い職業体験の場にもなりました。

オリンピック・パラリンピックを応援しようというムードは東京と比べて、関西はまだまだ低いです。日本の競技運営能力の高さは世界でも認められているので、国際社会における日本のポジションを認めてもらうためにも、多くの大学、行政、団体、企業などにも応援プログラムに参加いただき、オリンピック・パラリンピックと一緒に盛り上げていきたいと考えています。



大阪経済大学人間科学部
人間科学科 准教授
相原 正道(あいほらまさみち) さん



REPORT

社内外で力を合わせ チームで挑む

株式会社セレスポ
大阪支店 副支店長
山口 揚(やまぐち あきら)



セレスポの仕事はチームで進めていくことが多く、いろいろな会社、人がそれぞれの立場、役割で関わり、協力しあうことで成果につながっていきます。今回のイベントでは、大阪経済大学の相原先生が中心になり、大阪市や組織委員会、私たちが普段一緒に働く機会がない学生たちも協力してくれました。

東京オリンピック・パラリンピックは、東京だけではなく、日本にとって大きなイベントです。今回、相原先生のカモお借りしながら多くの組織、人と関わることができたほか、セレスポ社内でもさまざまな部署とも関わりながら一翼を担うことができました。

セレスポは主催者さまが抱えている課題を、イベントを通して解決していくことが仕事です。イベントは課題解決の有効な手段のひとつで、セレスポのノウハウやチームワークを発揮して一緒に解決します。今回、相原先生を中心とした良い関係性がシンポジウムの成功につながっていたので、私たちもぜひ参考にさせていただきたいと思いました。

東京2020の開催まであと3年ですが、セレスポがオリンピック・パラリンピックにどう貢献できるのか。リーダーとして働くなかで最後に生きるのは個人の力よりもチームの力だと感じています。関西地域のムーブメントを盛り上げ、全国にも広げていきたい。そのためにもセレスポ内外問わず一緒に盛り上げていく“チーム”を作りたいと考えています。

また、ルール違反ではないのに失格と宣告されてしまったとき、選手とコーチが共にルール違反ではないことを冷静に訴え、再審議を経て失格が取り消されるような事例も増えてきていると続けました。

「負けたときに感情的に言っても聞いてもらえませんよね。ルールブックを頭に入れて、冷静にしかるべき方法で訴える。最近はコーチも含めてチームで戦うように変わってきていて、選手のコメントもだんだん“I”から“WE”に変わってきているんです」(朝原氏)

各団体それぞれが知恵を出し “WE”で盛り上げる

シンポジウムの後半では、大阪市や大阪大学、大阪市立大学の准教授が集まり、大阪を含めた関西地域でオリンピック・パラリンピックとどう関わっていくべきか、地域特性をどう盛り込んでいくのかを議論しました。街づくりや文化、ビジネスも交えて、それぞれの想いを解説しました。

「大阪市は大阪市スポーツ振興計画を立てています。スポーツに触れる方を増やし、健康増進とそれに伴う医療費の抑制。スポーツイベントの開催機会を増や

し、観戦する、ボランティアとして関わる機会も増やしたい。そして、地域社会のつながりを強め、多くの人の社会参加のきっかけを生み出したいなど、健康、魅力、経済の三本柱でオリンピック・パラリンピック、そして関西地域を盛り上げていきたいと考えています」(大阪市経済戦略局 折原真子課長)

東京オリンピック・パラリンピックまであと3年。開催地である東京だけではなく、全国各地の自治体や大学、企業が“WE”で日本全体を盛り上げていく。見識者だけではなく、参加者からも絶対に成功させる！という熱気を感じました。



※東京2020応援プログラム大学提携協定締結とは2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックを教育やグローバル人材育成に役立てるため、競技大会組織委員会と全国の大学・短期大学が連携協定を締結。各大学の特色を生かしながらオリンピック・パラリンピックを共に盛り上げていく取り組み。



Event Data

- 2017年1月21日 13:30~16:10
 - 来場無料
 - 大阪経済大学 大隅キャンパスD館1階 D10 フォーラム
 - 大阪経済大学
- 〒533-8533 大阪市東淀川区大隅 2-2-8
TEL:06-6328-2431

セレスポ
Pick Up

パラリンピック日本代表を目指すアルペンスキー選手 セレスポは、本堂杏実選手を応援します!

弊社では、国のスポーツ振興活動に賛同し、アスリートの活躍を支えるため、さまざまな取り組みを行っています。今回は、セレスポが応援している女性アスリートの本堂杏実選手をご紹介します。

パラリンピック日本代表を目指す女性アスリート

2018年平昌パラリンピックの日本代表を目指す本堂選手は、日本体育大学に通う大学2年生です。大学では女子ラグビー部に所属していますが、パラリンピックへの出場を希望し、2016年夏に本人の身体能力をより生かすことができるアルペンスキーへと転向し、パラリンピック日本代表を目指すことになりました。



現在、海外や国内の合宿に参加して技術強化をおこなっており、2017年2月14日スロベニアにて開催された「IPCSASヨーロッパカップ大回転競技」において見事3位に入賞しました。(写真右)

平昌から北京、メダル獲得を目指して

「現在、私がスキーに対し実りのある時間を過ごしているのは、皆さまのご支援のお陰です、本当にありがとうございます。今後の目標は、人一倍負けず嫌いな性格を生かして勇猛果敢に攻めていき、必ず平昌パラリンピックに出場することです。そして、今できる全ての力を発揮して少しでも上の順位に入り、5年後の北京パラリンピックではメダル獲得をさ

らなる目標とし、皆さまの声援に応じていきます。今後とも応援よろしくお願いたします」

アルペンスキー競技の日本代表選手としてパラリンピック出場、そしてメダル獲得、というチャレンジャー精神旺盛な本堂選手。セレスポは、これからも目標に向かって挑戦し続ける本堂選手を応援していきます。



本堂 杏実(ほんどう あんみ)選手

所属:日本体育大学 体育学部 健康学科
障がい:先天性疾患による左手指欠損

幼少期からはじめたラグビーだけでなく、陸上競技やボクシング、そしてスキーと小さい頃からさまざまなスポーツに積極的に取り組む女性アスリートです。

ギネスワールドレコーズのオフィシャルパートナーになりました。

株式会社セレスポは、2017年1月よりギネスワールドレコーズ(英国)のオフィシャルパートナーになりました。ギネス世界記録®への挑戦および認定イベントの実施をサポートし、皆さまの課題解決のためのソリューションを提供していきます。ギネス世界記録に挑

戦する公式イベントの、企画に関するお問い合わせやご相談、記録挑戦のアドバイスや実施サポートなど、事前準備や開催当日だけではなく、ライセンス契約など記録認定後までサポートいたします。初回相談は無料で承りますので、お気軽にお問い合わせください。



【お問い合わせ先】
株式会社セレスポ 事業支援部 (☎03-5974-1112)

発行 発行日:平成29年2月20日

発行元 株式会社セレスポ (CERESPO CO.,LTD.)
〒170-0004 東京都豊島区北大塚1-21-5(本社)
TEL:03(5974)1111 FAX:03(5394)7651
http://www.cerespo.co.jp/

編集 山川 謙(yawn)
記事 コーポレートデザイン室
デザイン ジッピーデザイン

編集後記

「2020年のオリンピック・パラリンピック開催地は東京です!」
そんな報道を見たとき、「開催は7年も先なのか…」と少し遠い話のように思っていました。今回、取材をしているうちに開催までもう3年しかないことに気づき、迫ってくる開催に期待が膨らんできました。
まもなく、2019年ラグビーワールドカップ、2020年東京オリンピック・パラリンピック、2021年関西ワールドマスターズゲームズという世界的なスポーツイベントが開催される「ゴールデン・スポーツイヤーズ」が到来します。世界の注目が集まるので、日本の魅力を発信する大きなチャンス!開催地だけでなく、開催国としてこのビッグイベントを盛り上げていきましょう。